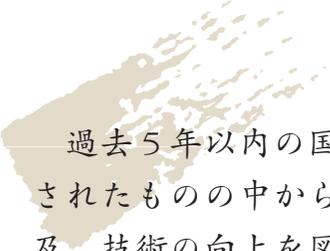


日本漆喰協会

第1回作品賞

平成18年10月



過去5年以内の国内の漆喰やドロマイトプラスターを使用して創作されたものの中から日本の伝統的な不燃建築仕上げ材である漆喰の普及、技術の向上を図り、安全で環境と人に優しい漆喰工法による建築文化を後世に継承して行くための一助となること、併せて漆喰関連業界の発展に寄与することを目的とし、社会的、文化的見地から特に優秀と認められる漆喰を使用した作品の表彰を行う。

1



作品名	奥田邸(改修)
作品の所在地	広島県三次市吉舎町吉舎509
竣工	2005年9月
設計者	有限会社 永井一級建築士事務所 代表取締役 永井秀昭
施工者	株式会社 ホーム二十一 代表取締役 金子晃子
左官	有限会社 宮地組 代表取締役 宮地俊行

＜講評＞ 広島県三次市吉舎は江戸時代から宿場町として発展した町であり、漆喰壁の建物で立派な町並みであった。この作品は当時の建築を再建したものである。外壁1階部分の厚みと丸みをもたせた独特な紋様の「なまこ壁」、そして、2階正面の格子戸は、往時の左官技術を彷彿とさせるような、見事な出来栄である。左官の繊細で巧みな技を存分に発揮した作品である。

2



作品名	海住山寺境内整備(土塀改修)
作品の所在地	京都府相楽郡加茂町大字例幣小字住山20
竣工	2006年4月
設計者	仲和建设株式会社 取締役社長 北尾行弘
施工者	同上
左官	しっくい浅原 浅原雄三

＜講評＞ 海山住寺は、聖武天皇の勅願で良弁僧正が創建したという古刹であり、鎌倉時代建立の五重塔は国宝である。この土塀改修の漆喰仕上げは、建立当時を想定し、日干レンガを積んで下地を作った、きわめて珍しい、左官の創作意欲を感じることでできる作品である。漆喰の仕上がりは見事であり、その精緻をきわめた仕上がりといい、古いお寺や周囲の景観を損なわないよう配慮したつくりといい、十分に評価される。

3



作品名	グループホームあおぞら・ふよう病院(増築)
作品の所在地	東京都町田市鶴間544
竣工	2002年2月
設計者	S I T E 代表 齊藤祐子
施工者	大成建設株式会社東京支店 常務役員東京支店長 市原博文
左官	株式会社 スリーエー技建工業 代表取締役 原田 繁

＜講評＞ この病院建築は、認知症の高齢者が共同生活をする場である。入居者の各部屋を含め内壁すべてが漆喰系珪藻土で仕上げられている。自然素材ならではのやさらかな質感が、室内全体をやさしく包み込む、そんな感性に訴える作品である。この作品は、漆喰はじめ塗り壁が、見栄え以上に、住人の心地良さや落ち着ける雰囲気を提供していることを、実感させてくれる。

4



作品名	甲陽園の家
作品の所在地	兵庫県西宮市甲陽園西山町12-29
竣工	2004年5月
設計者	福田建築工房 福田浩明
施工者	有限会社 濱内工務店 代表 濱内克治
左官	同上

<講評> 土佐漆喰の素材感、素材としての力を十分に生かした作品である。漆喰に包まれた住まいは、呼吸する素材であることや厚みのある素材感により、非常に落ち着いた空間になっている。内外壁とも骨材を入れた木燐摺り仕上げで凹凸の表情をもつ壁が、平滑と違う漆喰のあたたかい質感になっている。一般住居にこそ漆喰と感じさせる、住み手にとって快適な住まい空間を創出している。

5



作品名	国立国会図書館国際子ども図書館
作品の所在地	東京都台東区上野公園12-49
竣工	2002年3月
設計者	株式会社 日建設計 代表取締役社長 中村光男 安藤忠雄建築研究所 安藤忠雄
施工者	株式会社 鴻池組東京本店 本店長 倉知 節
左官	株式会社 浪花組 代表取締役社長 中川一彦

<講評> 前身である旧帝国図書館当時（明治39年）の内外装仕上げを保存・再生するコンセプトにより設計・施工が行われ、漆喰工事についても、壁、天井、そして漆喰彫刻が忠実に復元されている。当時の高い左官技術を継承し、美しい漆喰仕上げを再現した意義は非常に大きく、漆喰の技法「塗る、引く、描く、貼る」の4つの技法全てが駆使される、歴史的にも、建築の将来のためにもきわめて価値ある作品である。

6



作品名	佐野市立吉澤記念美術館・葛生傳承館
作品の所在地	栃木県佐野市葛生東1丁目内槐原265-4他
竣工	2004年9月
設計者	芦原太郎建築事務所 芦原太郎
施工者	前田建設工業株式会社北関東支店 執行役員支店長 橋本茂男
左官	西澤工業株式会社 専務取締役 西澤多嘉夫

<講評> 日本有数の石灰・漆喰生産地にふさわしい、漆喰の素材を十分に生かした、優れた現代建築である。この作品は、国内の美術品に特化した美術館としての香りを生み出すため、「和」のイメージをコンセプトとした。切妻屋根と漆喰の白壁が和のテイストを上品に引き出したデザイン性、大壁の漆喰仕上げをシームレスに美しく仕上げた施工技術の高さが、非常に優れている。

7



作品名	四階楼(修復保存)
作品の所在地	山口県熊毛郡上関町大字室津868-1
竣工	2001年3月
設計者	立畠一級建築設計事務所 所長 立畠清作
施工者	株式会社 山内組 代表取締役 山内 治
左官	岩原和人

<講評> この作品は、日本でもきわめて珍しい、木造4階建ての擬洋風建築である。この漆喰仕上げの出来栄は秀逸であり、若いひとりの無名左官の、高い技量と志を感じさせる、優れた作品である。この作品は明治14年に建築された建物を復元再生させたものであり、地元企業と役所、学術関係者の産官学が三位一体となって産み出した意義も大きく、その点からも評価できる。

8



作品名	重要文化財 熊谷家住宅(修復保存)
作品の所在地	鳥根県大田市大森町ハ63
竣工	2006年3月
設計者	財団法人 文化財建造物保存技術協会 現場所長 高橋好夫
施工者	藤井・田中特別共同企業体 代表 藤井工務店 藤井久代
左官	森山恵二

<講評> 日本を代表する左官職人を数多く輩出した「石州左官」のメッカともいえるべき鳥根県大田市。この地に保存再生されたこの作品は、現代の素材を十分に熟知しつつ、先祖から受け継いだ伝統の技量を遺憾なく発揮した、「石州左官の技消えず」と十分評価すべきものである。特に、黒漆喰磨き仕上げの出来栄は、見事である。

9



作品名	正田醤油本社屋
作品の所在地	群馬県館林市栄町3-1
竣工	2004年10月
設計者	一級建築士事務所 マヌファット 堀之内建設事務所
施工者	清水建設・河本工業建設共同企業体 工事長 村上 司
左官	壁左匠 しらいし 白石 博一

<講評> 地域を代表する老舗醤油醸造会社・本社社屋である。明治末期に建てられた醤油蔵の木造架橋を保持、補強し、新たに木舞・土壁下地をつくって、土佐漆喰で内外壁全面を仕上げている。関東でこれだけの土佐漆喰は非常に珍しい。圧巻であった。美しい木造架橋と土佐漆喰のやわらかい質感が見事に合致している。素材を活かすデザイン力、優れた左官技術は秀逸である。

10



作品名	津久見 フレスコプロジェクト 2003
-----	---------------------

作品の所在地	大分県津久見市大友町5-15
--------	----------------

竣工	2003年7月
----	---------

設計者	壁画LABO 代表 大野 彩
-----	----------------

施工者	大分県石灰工業会 会長 古手川保正
-----	-------------------

左官	同上
----	----

<講評> 豊富な石灰埋蔵量を誇る大分県津久見市が、石灰遺跡、石灰民俗学、フレスコ画等を通じて、市民参加の石灰文化を次世代に継承しようと、津久見市フレスコプロジェクトを立ち上げた。その代表作が、津久見市図書館に制作されたこの作品である。豊後領主・大友宗麟が16世紀後半少年使節団を派遣した様を描いたこの作品は、作品としての出来栄えはもちろんのこと、郷土、そして、郷土が生み出す石灰や漆喰に対する市民の思いが伝わる、すぐれた芸術的、文化的作品である。

11



作品名	萩博物館
-----	------

作品の所在地	山口県萩市大字堀内355
--------	--------------

竣工	2004年3月
----	---------

設計者	株式会社 建築研究所アーキヴィジョン 代表取締役 戸尾任宏 協和建設工業株式会社・波多野建設・松村建設共同企業体 代表 協和建設工業株式会社 代表取締役 田村充正
-----	---

施工者	株式会社小橋組 代表取締役 小橋義一 有限会社本土工務店 代表取締役 本山 宏
-----	--

左官	有限会社大谷 代表取締役 大谷雅則 有限会社砂川工業 代表取締役 砂川貴通 有限会社上田組 代表取締役 上田益義
----	--

<講評> この作品は、耐火建築であることが求められている RC 造の本館、木造在来工法の長屋門、木造伝統工法小舞壁の隅矢倉などの建物で構成されており、各々の建物に応じた適切な漆喰塗りの技術を用い、統一して木造の木組や漆喰で構成された内部空間と、白壁、なまこ壁といふし瓦による外部構成により、日本の伝統的木造建築の美しさと力強さを表現した重要伝統的建造物群保存地区にふさわしい建物となっている。

12



作品名	藤井邸螺旋の家
-----	---------

作品の所在地	福岡県田川郡川崎町大字川崎4349
--------	-------------------

竣工	2006年4月
----	---------

設計者	藤井工務店 代表 藤井憲昭
-----	---------------

施工者	同上
-----	----

左官	高山富昭
----	------

<講評> 螺旋カーブを描く内外壁、その斬新でモダンなデザインは、曲線や丸みをつくるのが可能な左官ならではの技術を十分活用した、意欲的な作品である。伝統建築の厳格な規矩から思い切りはずれたモダンな構造を過たずに構築できる施工の技量、挑戦的とも言える曲線ばかりの壁に漆喰の押え仕上げをする左官の技術は、熟練した匠だからこそなせる技である。

13



作品名	三鷹の森ジブリ美術館エントランスホール(天井フレスコ画)
作品の所在地	東京都三鷹市下連雀1-1-83
竣工	2001年6月
設計者	株式会社ムゼオ・ダルテ・ジブリ
施工者	壁画LABO 代表 大野彩
左官	有限会社 巧左官工芸 鈴木 忠

<講評> ジブリ美術館のエントランスホール天井画は、空間全体がフレスコ画であり、単なるフレスコ絵画の領域を越え、フレスコ画による空間創造ともいべききわめて貴重な作品である。折り上げ天井部分の太陽から広がる青空に、様々な植物群が描かれ、雲につながって腰壁へと至るこの壁画は、夢を売る美術館ならではのデザイン力と絵画的技術、そして、それを支える熟練した左官の技術があればこそである。

14



作品名	明治安田生命盛岡支社遠野営業所
作品の所在地	岩手県遠野市中央通2-16
竣工	2006年2月
設計者	株式会社 竹中工務店
施工者	同上
左官	左官業 齊藤組 代表 齊藤 進

<講評> 外装に漆喰を主体的に使用し、現代的でありながら遠野の風景に溶け込む建物になっている。現代風「蔵」といったところか。2階部分の外壁と軒天の漆喰仕上げは、開口部を限定して正面の白い漆喰壁面が美しく際立つ。開口部は彫りの深い窓により、漆喰壁の厚みが表現され、重量感がある。漆喰の素材感を十分に生かした、優れた作品である。また、壁と庇により漆喰を覆うことで、漆喰の壁面を長持ちさせる配慮・工夫も、評価できる。

15



作品名	大和市中鶴間ふるさと館(土蔵復元)
作品の所在地	神奈川県大和市中鶴間2359-5
竣工	2005年12月
設計者	一級建築士事務所 小出品夫 + CA設計工房
施工者	株式会社 伊沢工務店 会長 伊沢多喜男
左官	有限会社 湯田工業 代表取締役 湯田雄二

<講評> この作品は、大正7年に建てられた土蔵を、移築復元したものである。伝統的漆喰技術の粋を集めた、優れた作品である。大壁の漆喰仕上げはもちろんのこと、水切、鉢巻、窓扉、戸前扉、漆喰彫刻と様々な漆喰仕上げがいずれも素晴らしい出来栄であり、罅ムラのない透き通るような仕上がり、観音扉の精緻な直線美等、高度で繊細な左官技術を具現化している。



日本漆喰協会

事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館9F
TEL 03-3504-1601 FAX 03-3593-1604